お客さま本位の業務運営に関する基本方針

アイオー信用金庫

当金庫は、「共存同栄」を経営理念とし、地域・お客さま・金庫が三位一体となって繁栄することを目指しております。この理念の実現に向けて、「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」を定め公表いたします。

お客様の安定的な資産形成をお手伝いするため、より良いサービスの提供を行い、お客さまの最善の利益を追求してまいります。また、本方針に基づいた取組みについて、1 年に一度検証を行い、見直しを行ってまいります。

1. お客さまの最善の利益の追求に努めます。【原則2】
- お客さまの最善の利益を追求し、お客様が安定的に資産形成できるようお客さまのニーズに合った商品・サービスの提供を行ってまいります。

2. 利益相反取引の適切な管理に努めます。【原則3】
- お客さまの利益を不当に害する恐れのある取引を適切に管理し、お客さまの利益を保護してまいります。
- 「利益相反管理方針」に基づき適切な管理を行います。

3. 手数料等のわかりやすい説明に努めます。【原則4】
- お客さまからいただく手数料や費用について、分かりやすい説明に努めてまいります。
- 当金庫がお客さまからいただく手数料はホームページ等に掲載し、公表することを原則としています。

4. 重要な情報のわかりやすい提供に努めます。【原則5】
- お客さまの知識、経験、取引する目的などに配慮のうえ、お客さまに理解いただけるよう、お客さまの立場に立った説明を行います。
- 商品提供後は、半年に一度、丁寧なアフターフォローに努めてまいります。

5. お客さまが真に求める商品・サービスの提供に努めます。【原則6】
- お客さまとのコミュニケーションを大切にし、お客さまにとって最適な商品・サービスの提供に努めます。

6. お客さま本位の業務運営を徹底するため教育研修を実施してまいります。【原則7】
- 継続的な職員研修の実施、資格取得奨励により、専門知識の習得や、コミュニケーション能力の向上、コンプライアンスへの理解を深めてまいります。

2022年1月4日

※【　　】内は金融庁が公表している下記の「顧客本位の業務運営に関する原則」2～7との対応関係を示します。

「顧客本位の業務運営に関する原則」2～7	
原則2	顧客の最善の利益の追求
原則3	利益相反の適切な管理
原則4	手数料等の明確化
原則5	重要な情報の分かりやすい提供
原則6	顧客にふさわしいサービスの提供
原則7	従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

詳細は金融庁のホームページをご参照ください。

なお当金庫では金融商品の組成に携わらないため、原則6(注3)については非該当となります。

お客さま本位の業務運営に関する取組状況

1. お客さまの最善の利益の追求に努めます。【原則2】

① 5S Shinkin Bank（ファイブエスシンキンバンク）

アイオー信用金庫は「地元のソリューションをミライへ。」繋げるために、行動ポリシーとして「5S（ファイブエス）」を掲げ、地域貢献するしんきんを目指し、役職員一丸となって行動しております。

Sustainable　持続可能な＝いつまでも常に地元のみなさまとともに

Solution　解決＝地元のみなさまの悩み、不安など課題を解決

Strategy　戦略＝緻密な戦略を持って

Support　応援＝地元のみなさまの夢を応援する

Smile　笑顔＝あたたかいハートの笑顔で

② お客さまのライフプランに合った各種保険商品や投資信託・NISA・つみたてNISAを活用した資産運用のご提案をさせていただいております。

2. 利益相反取引の適切な管理に努めます。【原則3】

①当金庫は、営業部門から独立した管理部署の設置および責任者の配置を行い利益相反のおそれのある取引の特定および利益相反管理を一元的に行います。また当金庫は、利益相反管理について定められた法令および庫内規則等を遵守するため、役職員等を対象に教育・研修等を行います。

②重要情報シートにて、販売等に伴い組成会社から受領する手数料、組成会社との人的関係や資本的関係、販売会社における業績評価などの情報を提供したうえで、お客さまの最善の利益を追求した商品提案をいたします。

3. 手数料等のわかりやすい説明に努めます。【原則4】

①当金庫がお客さまからいただく手数料は「手数料一覧」として、ホームページ掲載、店頭ではポスター掲示にて公表しています。

② 金融商品のご提案にあたっては、手数料、その他諸費用などは、パンフレットや目論見書、重要情報シート、投資信託商品ラインアップなどを用いてご説明しております。

③手数料のご説明の際は、購入時に支払う手数料のほか、継続的に支払う費用、（信託報酬など），運用成果に応じた費用（成功報酬など）、換金・解約時の費用

（信託財産留保額など）、分かりやすいご説明に努めています。

4. 重要な情報のわかりやすい提供に努めます。【原則5】

①お客さまのライフプランやご意向を確認し、金融商品に対する知識、経験、お取引の目的もふまえて、お客さまにふさわしい商品をご提案いたします。

②重要情報シートを活用し、当金庫の基本情報、ラインナップに対する考え方、商品の内容、お客さまにその商品をお薦めする理由など、重要な情報をわかりやすく提供します。

③ご契約後も、投資信託は半年に一度、保険商品は年に一度、アフターフォローを実施し、お客さまに引き続き情報提供をさせていただきます。

④お客さまのご年齢にあわせて、ご提案する商品の内容につきまして十分ご理解いただけるよう心がけます。とくにご年配のお客さまにはご家族を交えて商品説明をさせていただく、何度かお会いして商品説明させていただくなどの配慮をいたします。

5. お客さまが真に求める商品・サービスの提供に努めます。【原則6】

①将来の資産形成をアドバイスする「資産運用セミナー」を毎月3回定期開催し、長期分散投資のつみたてNISAを中心にご案内しています。

②企業訪問による職域セミナーを月1回程度開催し、NISA、iDeCoを中心にご案内して働く世代のお客さまの資産形成をお手伝いしています。

③お客さまの多様なニーズに対応するため常時、商品ラインナップの見直しに努めております。（2021年11月投資信託2商品追加、2022年度は検討中）

④お客さまの円滑な資産承継のお手伝いとして暦年・相続信託商品を取り扱っております。ダイレクトメール等を活用し、個人信託商品のご紹介に努めております。

6. お客さま本位の業務運営を徹底するため教育研修を実施してまいります。【原則7】

① 資産運用に関する職員の意識向上および専門的知識を高めるため各店舗1名ずつ預り資産推進担当者を任命し、2022年度は3回研修を実施済みです。

② 相談能力向上のため職員の資格取得を奨励しております。

2022年10月現在、FP1級　4名、FP2級　37名合格済みです。

信託契約代理業務販売員資格は208名取得済みです。

外貨建保険販売員資格は80名取得済みです。

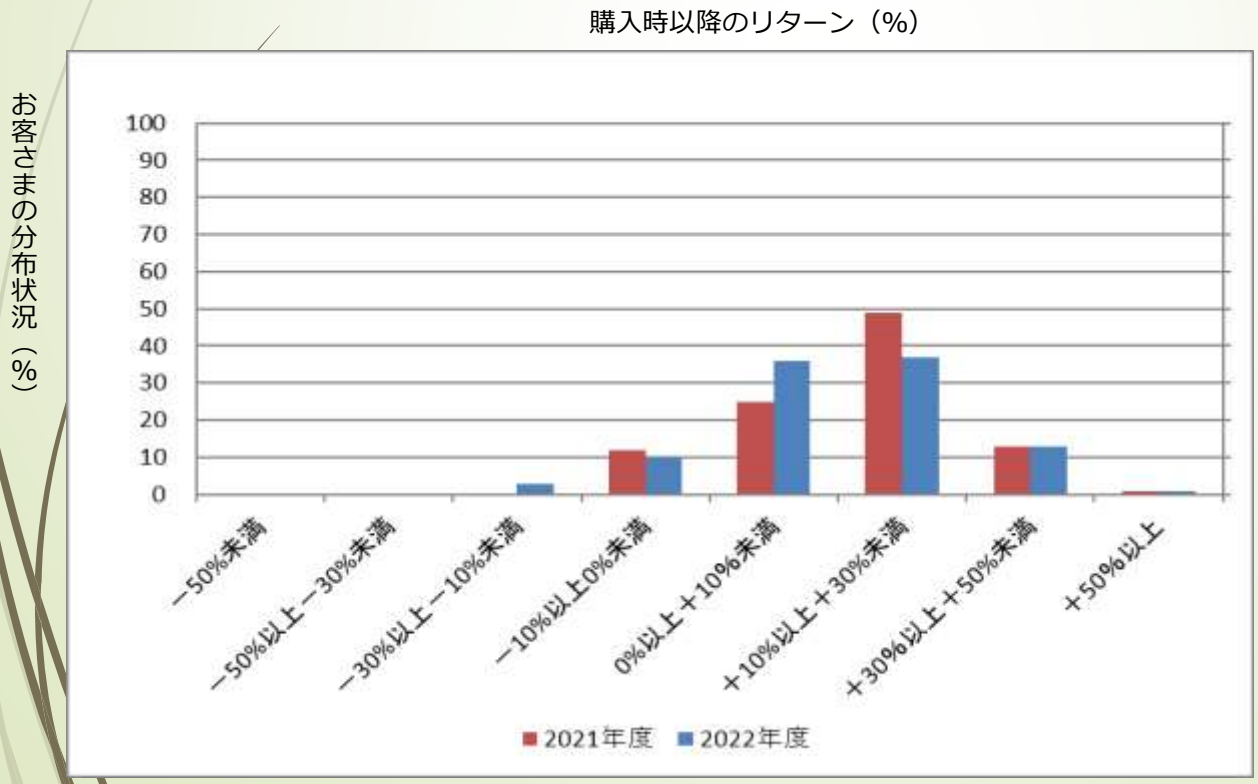
以　上

（2022年10月31日）

アイオー信用金庫の投資信託の共通ＫＰＩ①

投資信託の運用損益別お客さま比率

	2022年3月		2021年3月	
【運用損益の区分】	投信保有者	割合	顧客数	割合
＋50%以上	11人	1%	13人	1%
＋30%以上＋50%未満	116人	13%	101人	13%
＋10%以上＋30%未満	332人	37%	392人	49%
0%以上＋10%未満	323人	36%	197人	25%
－10%以上0%未満	91人	10%	93人	12%
－30%以上－10%未満	31人	3%	2人	0%
－50%以上－30%未満	1人	0%	2人	0%
－50%未満	1人	0%	1人	0%
合計	906人	100	801人	100%



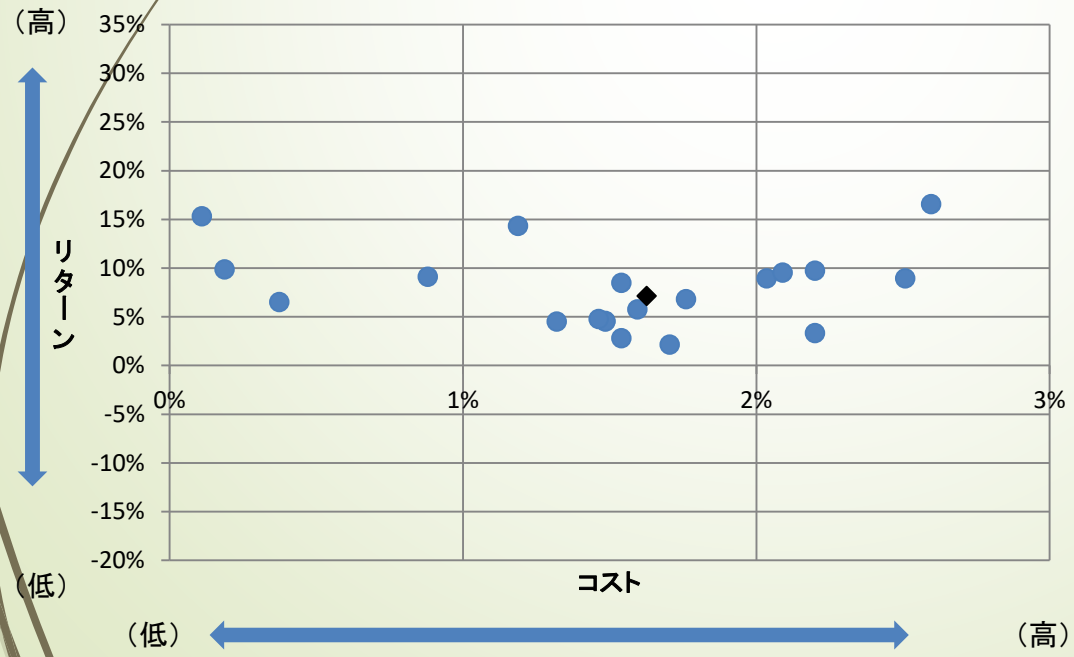
基準日時点で当金庫で投資信託を保有し、運用損益がプラスとなっているお客さまの割合
2021年3月末『**87.7%**』
2022年3月末『**86.3%**』

注１）基準日2021年3月末日・2022年3月末日
注２）購入時以降のリターン(%）とは基準日の評価金額＋累計分配金額－購入金額(手数料込)を基準日の評価金額で割った値です
注３）原則として2003年6月以降の数値をもとに算出しています

アイオー信用金庫の投資信託の共通ＫＰＩ②

投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン

順位	銘柄名	コスト	リターン	投資信託残高（円）
１位	しんきんＪリートオープン（毎月決算型）	1.49%	4.59%	278,532,464
２位	しんきん３資産ファンド（毎月決算型）	1.49%	4.51%	153,217,868
３位	女性活躍応援ファンド	2.04%	8.94%	137,362,187
４位	グローバル・ロボティクス株式ファンド（１年決算型）	2.60%	16.57%	88,019,230
５位	新光ＵＳ－ＲＥＩＴオープン（年１回決算型）	2.20%	9.74%	71,252,433
６位	しんきんインデックスファンド２２５	0.88%	9.11%	67,014,717
７位	しんきんグローバル６資産ファンド（毎月決算型）	1.60%	5.77%	65,663,470
８位	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.71%	2.16%	47,596,985
９位	しんきんＪリートオープン（１年決算型）	1.46%	4.78%	46,566,566
１０位	三井住友・げんきシニアライフ・オープン	2.20%	3.31%	42,377,859
１１位	ＤＩＡＭ高格付インカム・オープン（毎月決算コース）	1.54%	2.80%	39,263,249
１２位	しんきん好配当利回り株ファンド（３ヵ月決算型）	1.32%	4.52%	35,730,409
１３位	たわらノーロード先進国株式	0.11%	15.31%	31,948,436
１４位	三井住友・ＮＹダウ・ジョーンズ・インデックスファンド（為替ノーヘッジ型）	1.19%	14.35%	24,757,023
１５位	ＤＩＡＭ世界３資産オープン（毎月決算型）	1.76%	6.80%	22,612,144
１６位	ダイワ・インド株ファンド	2.51%	8.96%	21,248,781
１７位	たわらノーロード新興国株式	0.37%	6.52%	16,747,064
１８位	ニッセイ日本勝ち組ファンド（３ヵ月決算型）	1.54%	8.48%	16,328,483
１９位	しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	2.09%	9.54%	15,867,625
２０位	たわらノーロード日経２２５	0.19%	9.86%	15,752,794



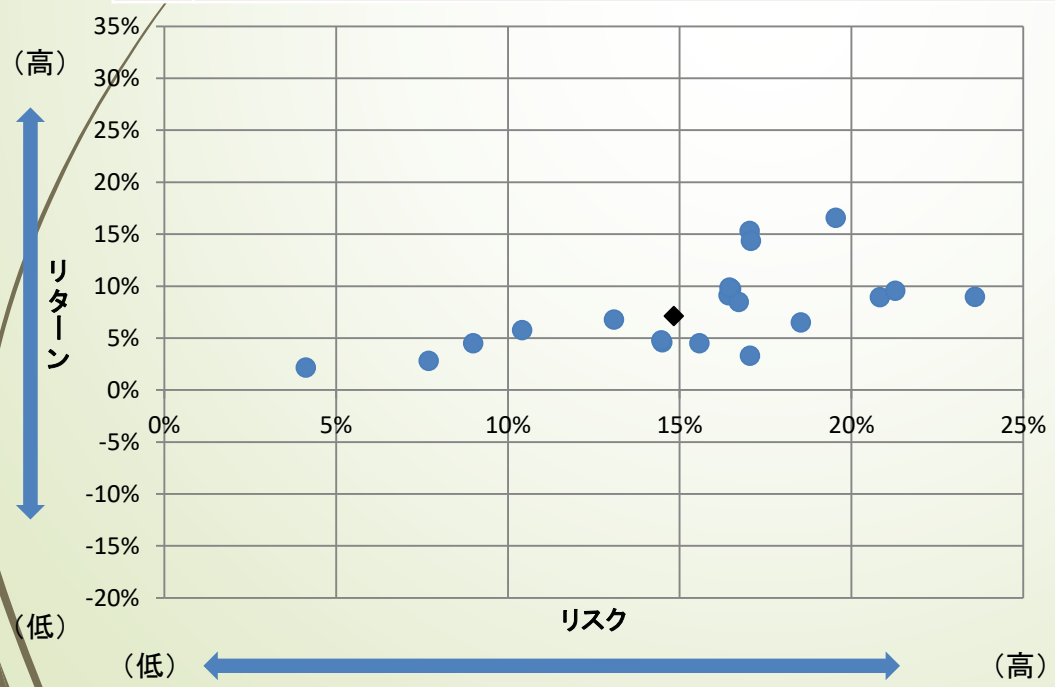
基準日2022年３月末日時点で、
当金庫のお客さまが保有している
投資信託残高上位２０銘柄の
平均的なコストは「**１．６３%**」
平均的なリターンは「**７．１２%**」です。

注１）基準日2022年3月末日
注２）コストは販売手数料率の1/5と信託報酬率の合計値です
注３）トータルリターンは過去5年間の基準価額の月次騰落率を年率換算した値です

アイオー信用金庫の投資信託の共通ＫＰＩ③

投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン

順位	銘柄名	リスク	リターン	投資信託残高（円）
１位	しんきんＪリートオープン（毎月決算型）	14.50%	4.59%	278,532,464
２位	しんきん３資産ファンド（毎月決算型）	8.99%	4.51%	153,217,868
３位	女性活躍応援ファンド	20.83%	8.94%	137,362,187
４位	グローバル・ロボティクス株式ファンド（１年決算型）	19.54%	16.57%	88,019,230
５位	新光ＵＳ－ＲＥＩＴオープン（年１回決算型）	16.50%	9.74%	71,252,433
６位	しんきんインデックスファンド２２５	16.42%	9.11%	67,014,717
７位	しんきんグローバル６資産ファンド（毎月決算型）	10.41%	5.77%	65,663,470
８位	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	4.11%	2.16%	47,596,985
９位	しんきんＪリートオープン（１年決算型）	14.47%	4.78%	46,566,566
１０位	三井住友・げんきシニアライフ・オープン	17.04%	3.31%	42,377,859
１１位	ＤＩＡＭ高格付インカム・オープン（毎月決算コース）	7.69%	2.80%	39,263,249
１２位	しんきん好配当利回り株ファンド（３ヵ月決算型）	15.58%	4.52%	35,730,409
１３位	たわらノーロード先進国株式	17.04%	15.31%	31,948,436
１４位	三井住友・ＮＹダウ・ジョーンズ・インデックスファンド（為替ノーヘッジ型）	17.08%	14.35%	24,757,023
１５位	ＤＩＡＭ世界３資産オープン（毎月決算型）	13.09%	6.80%	22,612,144
１６位	ダイワ・インド株ファンド	23.60%	8.96%	21,248,781
１７位	たわらノーロード新興国株式	18.53%	6.52%	16,747,064
１８位	ニッセイ日本勝ち組ファンド（３ヵ月決算型）	16.72%	8.48%	16,328,483
１９位	しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	21.27%	9.54%	15,867,625
２０位	たわらノーロード日経２２５	16.45%	9.86%	15,752,794



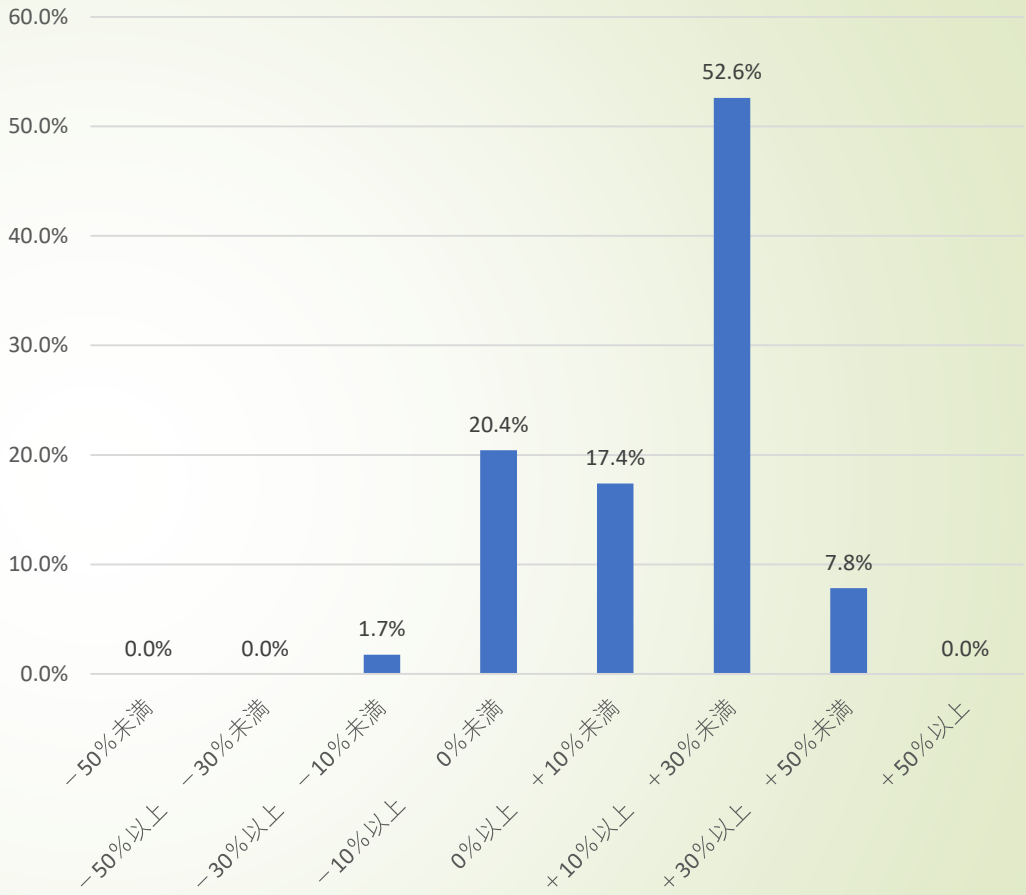
基準日2022年3月末日時点で、
当金庫のお客さまが保有している
投資信託残高上位２０銘柄の
平均的なリスクは「**１４．８２%**」
平均的なリターンは「**７．１２%**」です。

注１）基準日２０２２年３月末日
注２）リスクは過去5年間の基準価額の月次騰落率のバラツキの値です
注3）トータルリターンは過去5年間の基準価額の月次騰落率を年率換算した値です

アイオー信用金庫の外貨建保険の共通ＫＰＩ①

外貨建保険の運用損益別お客さま比率

【運用損益の区分】	割合	外貨建保険契約者
＋50％以上	0.0%	0人
＋30％以上　＋50％未満	7.8%	18人
＋10％以上　＋30％未満	52.6%	121人
0％以上　＋10％未満	17.4%	40人
－10％以上　0％未満	20.4%	47人
－30％以上　－10％未満	1.7%	4人
－50％以上　－30％未満	0.0%	0人
－50％未満	0.0%	0人
合計		230人



基準日時点で当金庫で外貨建保険を保有し
運用損益がプラスとなっているお客さまの割合
2022年3月末『７７．８％』

注１）基準日2022年3月末日
注２）購入時以降のリターン(%）とは基準日の解約返戻金額＋＋基準日の既支払金額ー契約時点の一時払保険料を契約時点の一時払保険料で割った値です。(いずれも円換算）
注３）リターンには保険特有の保障機能が反映されておらず、また解約返戻金は早期解約すると一時払保険料を下回る場合が多いので、投信信託と比較することは必ずしも適切ではありません。

アイオー信用金庫の外貨建保険の共通ＫＰＩ②　銘柄別コスト・リターン

※当金庫が取り扱う外貨建保険の商品は基準日2022年3月末時点で６0カ月以上経過していないため、銘柄別コスト・リターンの算出はできません。